

憲法しんぶん速報版

第 118 号

2005 年 5 月 16 日

発行＝憲法会議

Tel 03-3261-9007

Fax 03-3261-5453

『月刊憲法運動』 5 月号で大特集

「憲法調査会報告書」を徹底批判

自民・公明・民主の各党は 4 月に衆参の憲法調査会が提出した最終報告書を高く評価しています。しかし、両報告書は調査会の権限をはなはだしく逸脱したものであり、内容も矛盾に満ちています。『月刊憲法運動』5 月号はその内容を徹底して分析し、報告書をつうじて浮かびあがった 3 党の改憲姿勢をきびしく批判しています。

16 人の研究者が論陣

『月刊憲法運動』5 月号は通常号の倍の 64 頁を衆参の最終報告書の批判にあて、16 人の憲法研究者が報告の条章にそった批判を展開しています。大いに活用しましょう。

＜『月刊憲法運動』5 月号内容目次＞

I 総論・調査なき憲法『調査』会報告（小林武・愛知大学）

II. 最終報告の論点別批判

- ①前文（横田力・都留文科大）
- ②国民主権・天皇（高橋利安・広島修道大）
- ③安全保障・国際協力・非常事態（前原清隆・長総科大）、木下智史・関西大、塚田哲之・神戸学院大）
- ④国民の権利・義務（成澤孝人・三短大、清水雅彦・明治大、寺川史朗・

三重大、中里見博・福島大）

⑤国会・政党（上脇博之・神戸学院大）

⑥議院内閣制・首相公選制・オンブズマン」（小松浩・神戸学院大）

⑦財政（小沢隆一・静岡大）

⑧司法（北川善英・横浜国大）

⑨地方自治」（植松健一・島根大）

⑩. 憲法改正・最高法規（隅野隆徳・専修大）

18 日発行。一部 800 円（〒76）。お申込みは憲法会議へ。

自民党起草委が改憲論議再開

自民党の新憲法起草委員会は 18 日、有識者、財界人をまじえた諮問会議を開き、作業を再開しました。秋の党大会に向け改憲草案たたき台（試案）を作成する予定ですが、すでに試案段階では条文化を見送ることにしています。

各地の5・3集会(下)

【岩手】 憲法会議などの「岩手の会」主催の「つどい」に700人が参加。講演「九条を次世代に伝えよう」（河相一成・東北大名誉教授）と、歌。

【宮城】 護憲平和センター、憲法を守る市民委員会、憲法会議の共催で「憲法を活かす県民集会」に800人が参加。杉原泰雄・一橋大名誉教授が講演『「主権者学」のすすめ、集会後デモ行進。

【福島】 憲法会議も参加する実行委員会の主催で「憲法を考えるつどい」に140人参加。坂本修弁護士が「私たちの手で『もう一つの日本を』」と講演。

【茨城】 広範な団体でつくる実行委員会の主催する「憲法フェスティバル」に400人参加。岡野加穂留・元明大学長）の講演「21世紀憲法の原点」や戯作者の松崎菊也さんのトーク。

【埼玉】 憲法会議主催の憲法フォーラム「憲法の危機、教育の危機」に200人参加。浅井勉・県教職組委員長の問題提起と討論。

【千葉】 憲法会議主催の憲法集会「憲法と国際貢献」に400人参加。郡山総一郎さんが写真紹介と講演。佐藤剛造・弁護士ね公園。各界からの発言。

【山梨】 憲法会議などの実行委員会主催の憲法集会に261人が参加。上田耕一郎・日本共産党副委員長が講演。

【長野・松本】 憲法会議など主催の集会に100名が参加。松本猛・安曇野ちひろ美術館館長が、「戦争と子どもたちと憲法9条」と題し講演。

【富山】 6日、憲法会議、護憲連合、九条医師の会などでつくる「富山の会」

に1100人参加。鶴見俊輔、澤地久枝両氏が講演。

【石川】 憲法会議などが主催する集会に150人参加。宮井清暢・富山学教授が「日本の憲法状況と改憲論」と題して講演。

【岐阜】 憲法会議などが主催する「つどい」に400人参加。（西野瑠美子・バウネット・ジャパン共同代表が講演。

【三重】 憲法会議が主催する「つどい」に140人参加。近藤敦・名城大学教授が講演。

【兵庫】 憲法会議主催の「憲法集会」に700人参加。愛敬浩二・名古屋大学教授の講演のほか、県国公でつくる「護憲ライダー」のパフォーマンス

【島根】 憲法会議や広範な勢力でつくる実行委主催の集会に400人参加。ジャーナリストの斉藤貴男さんが講演。

【広島】 憲法会議などでつくる実行委員会主催の集会に650人参加。第一部「活かせ憲法—軍隊をなくしたコスタリカから」（伊藤千尋・ジャーナリスト）、第二部ミュージカル風憲法劇

【山口】 実行委員会主催の集会に130人参加。⑤講演「憲法『改正』問題を考える」（松井幸夫・関西学院大学教授）、ミニコンサート、コント

【香川】 憲法会議など広範な団体でつくる「県民の会」主催の集会に300人参加。シンポジウム（高教組、広島市立大生ら）

【長崎】 実行委員会主催、「ながさき9条フェスタ」に1500人。講演「私の憲法九条—音楽から見えてくる平和について」と（湯川れい子・音楽評論家）、シンポジウム（被爆者、学生など）